

1.臨時社員総会・懇親会・福岡バス観光開催のご報告

JADCA 初となります、臨時社員総会を地方開催(福岡)にてハイブリッド形式(会場とオンライン参加 ZOOM)で開催いたしました。2月1日(水)2022年度臨時社員総会2月2日懇親バス観光「福岡の歴史と博多の街に触れる」が開催されたました両日の模様をお知らせします。

2023年2月1日臨時社員総会が福岡西鉄グランドホテル真珠の間で開催されました。

第一部は2023年度事業計画案並びに収支予算案が審議され異議なく承認されました。

ご報告としては、定時社員総会・JADCA35周年記念式典の開催の予告がございました。

*詳細は別紙にてご案内いたします。

その他2月14日開催のJADCA建築物環境衛生セミナーでは「イマドキの職場の健康と安全」というテーマのセミナーハイブリッド形式にて開催の案内がありました。

また清水専務理事からは次世代を担う青年部の育成を目指し協会運営に携わっていただける人材を広く募集する説明があり今後の協会運営に期待感が高まります。

第二部は福岡市消防局予防部予防課予防係長の柿本真一様より福岡市の「飲食店火災の現状と予防と対策」についてご講演頂きました。

飲食店のダクト内清掃不足による博多駅新幹線高架下火災・旦過市場火災などが発生し社会問題となっていること等ダクト清掃の重要性を協会として推進していきたい所存です。

懇親会では博多検番の芸妓による舞で始まりとても華やかな雰囲気の中多くの会員企業が集まりました。ご来賓としては公益社団法人全国ビルメンテナンス協会九州地区本部古賀様・一般社団法人全国管洗浄協会副理事長難波様にもご出席いただきご祝辞を頂戴し盛会のうちに終了いたしました。

また翌日の2月2日は福岡支部会員企業の企画による懇親バス観光が開催されました。

好天に恵まれ福岡の美味しい空気と美味しい地の物を頂く事が出来ました。



2. JADCA 2023年1月～3月 活動報告

日時	内容	会場
1月13日(金)	評価認定委員会	JADCA 事務局会議室 オンライン開催
1月18日(水)	理事会	JADCA 事務局会議室 オンライン開催
1月31日(火)	ダクト清掃作業従事者研修 1年目研修	JADCA 事務局会議室 オンライン開催
1月27日(金)	厨房委員会 ワーキンググループ	浅草観光文化センター会議室
2月1日(水)	臨時社員総会・バス観光(福岡)	西鉄グランドホテル オンライン ハイブリット開催
2月14日(火)	JADCA 建築物環境衛生セミナー 【イマドキの職場の健康と安全】	浅草観光文化センター会議室 オンライン ハイブリット開催
2月21日(火)	ビジネスモデル委員会	オンライン開催
2月28日(木)	ダクト清掃作業従事者 2年目以降研修	JADCA 事務局会議室 オンライン開催
3月6日(月)	総務委員会	オンライン開催
3月16日(木)	広報委員会	JADCA 事務局会議室

3. 事務局からのご連絡



2月14日に開催いたしましたJADCA建築物環境衛生セミナーの動画をJADCAホームページのトップページ画面に掲載いたしました。自由に閲覧できる状態にしておりますのでクリックして頂きご覧ください。

第1部【最近話題の健康経営、取組企業が急増中】

増原ビジネスコンサルティング

代表 増原克巳知 氏

第2部【職場の健康安全衛生対策】

日本空調システムクリーニング協会

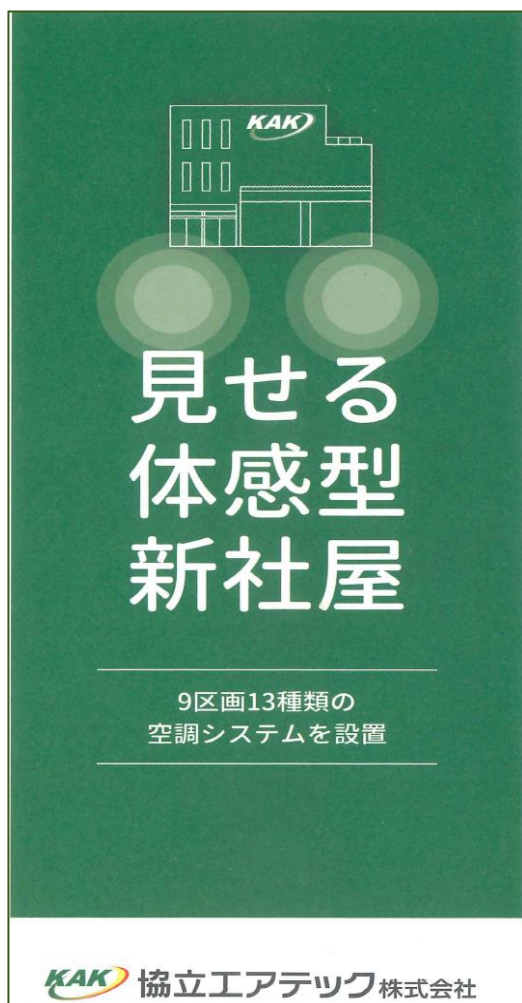
専務理事 清水晋 氏

YouTube 配信しています！

チャンネル登録・いいね！

高評価をお願いします。

協立エアテック株式会社新社屋見学会のご案内



会員企業協立エアテック株式会社様が新社屋を完成されました。

【見せる体感型新社屋】体験しながら各種設備を見学させて頂ける事になりました。

募集人数：15名 *先着順とさせていただきます。
定員になりましたら締め切らせて頂きます。
ご希望の方は事務局へお申込み下さい。

日時：5月18日(木) 14:00 現地集合

場所：協立エアテック株式会社東京本社

東京都江戸川区西瑞江 4-15-1

TEL：03-3656-2171 (代)

都営新宿線 一之江駅より徒歩4分

ダクト清掃作業監督者講習（新規・再講習）

建築物衛生法において、建築物空気調用ダクト清掃業の登録要件の一つになっているダクト清掃作業監督者資格のための講習です。

この講習の主催は公益財団法人日本建築衛生管理教育センターです。

詳細は、同センターにお問い合わせください。

	講習期間	講習会場	受付
新規講習	2023年 9月26日(火)～9月29日(金)	ワイム貸会議室高田馬場 東京都新宿区高田馬場 1-29-9TD ビル3階	2023年 8月3日(木)～8月9日(水)
再講習	2023年 8月28日(月)～8月29日(火)	三田国際ビル1階 東京都港区三田 1-4-28	2023年 7月6日(木)～7月12日(水)



良い空気を吸う権利

人間は、食物、水、空気を取り込むが、その中でも空気は非常に多いと言える。例えば、成人安静時の1回の呼吸量が約500 mLで、呼吸数が15-16回/minであることから、呼吸量は1分間で約8 L/min、1日で約1,150 Lにもなる。重量では、約15 kg/日となり、食物の約1 kg/日、水の約2 kg/日に比べても非常に多いことが分かる。食物、水については、我々が選択して安全なもの、おいしいものを自分の好みで摂取することができるが、空気についてはその場にあるものを呼吸することになる。よって、私たちはその空間の空気を好むと好まざるとに係わらず、その場の空気に頼らざるを得ない。

身の回りには空気は、目に見えなく、存在感もなく、なかなか感じるができない。例えば建物の中で、暑い寒いに関する温熱環境には敏感で、衣服を脱ぎ着したり、エアコンをつけたり、設定温度を調整したりする。明るさに関係する光環境についても、暗ければ照明をつけるし、直射日光がまぶしければカーテンやブラインドを閉める。しかし空気についてはどうだろうか。もちろん近くにタバコを吸う人がいれば、換気扇を動かし、窓を開けて空気を入れ換えることをするだろう。昨今のビルでは、分煙や禁煙が進められて、タバコの煙で空気が極端に悪くなっていることがなくなっている。また、においについては敏感に空気を感じるができるので、「臭い」と感じた際には、同様に換気などの行動を取り、においの発生源を探すことになる。しかしその他には、特に問題と感することがなければ、その場の空気の善し悪しに係わらず、特に気にせず大量に吸い続けることとなる。現代人は、大半を住宅や建築物などの室内空間で過ごしていることから、室内の空気が汚染され、その空気を吸い続けることで、健康に悪影響を及ぼすことがある。これが「シックビルディング症候群」又は「シックハウス症候群」となる。

一般に空気とは、窒素、酸素、アルゴンなどの混合気体で、これらの物質で全体の99%を占める。人の健康に有害となる成分はこれよりも極微量存在するものが対象となる。住宅やビルの室内では、内装材料や燃焼器具、調理、居住者の行動により汚染物質が発生し、気密性能が向上した現代の建物では、極微量でありながらも我々が気づかないうちに、空気中に長い時間にわたって浮遊し続けることとなる。これを避けるために、ビルであれば空調機が重要な役割となる。空調機は温湿度を調整するだけでなく、外気の新鮮な空気を取り入れ、粉塵などを除去して部屋に供給し、汚染された空気を部屋より排出する。このようにして、我々の健康を脅かすような極微量な汚染物質を適切に制御することが、空気汚染対策で最も重要であり、空調機が重要な役割を果たしている。

昨今、PM2.5と呼ばれる大気汚染が話題となることがある。大気汚染対策には、工場の排ガスや自動車の排ガスを規制すれば良いかと思うが、他国からの越境汚染など地球規模での対策も必要となり、容易ではない。しかし、建物の内部だけに限れば、空気を浄化し、快適な空間を創ることは、空調機の技術により比較的容易に達成することができる。よって、我々が吸う空気については選択する自由はないものの、多くの時間を過ごす建物の中では空調機を適切に設置し、運用・維持管理することが重要である。以上のように建物の中を空調システムにより適切な空気環境とすることは、私たちの良い空気を吸うための権利を守り、健康で安全で快適な環境を維持するために必要不可欠である。

JADCA 委員会紹介 ビジネスモデル委員会

JADCA の中には複数の委員会がありますが、今回はビジネスモデル委員会の紹介をさせていただきます。

約3年前に新しく出来た委員会となり、他の委員会に比べて日が浅い委員会となります。新しいビジネスモデルを構築し会員企業のビジネス向上を目指す事を目的に掲げ活動を行なっております。今までのJADCAは基準作りのための調査研究や協会独自の資格作り、国への働きかけなどを行ってきましたが、唯一、会員企業のビジネスメリットの面で協会としての働きかけが少なかった部分がありましたのでビジネスに特化した委員会を発足するべきと声が上がりました。

よく誤解されるのが、新しいビジネスモデルの構築としていましてダクト清掃意外の分野のビジネスと思われる方がいるのですが、実際には、現状の「もったいない」部分を繋ぎ合わせ会員企業のメリットを増やすことが会員企業の皆様にビジネスとして様々な提供をできるのではないかと考え、現在、旬のネタ（換気の重要性・厨房火災）をビジネスに転換、JADCA 資格の空調、厨房診断士をビジネスに繋げる活用方法やダクト清掃の認知度向上、JADCA の知名度向上、会員企業同士のビジネス交流、JADCA 会員企業の加盟企業の増加による業の発展など、多岐に渡るビジネスに繋がる部分を構築するために活動しております。

委員会のメンバーも日本全国から集まって頂き、2ヶ月に1回のペースで委員会を行なっております。

会員になったけどメリットが少ないと感じないように、多種多様のメリットを提供できるように進めていければと考えておりますが、委員会メンバーだけでは出来ないことも多くある事も実際にはあるので、様々なビジネスに繋がる部分を会員企業の皆様と考え、より多くのメリットを協会内に広げて行きたいと考えております。

「もったいない」部分が見え隠れしていませんか？「もし」、こんなキーワードはどう？など、会員企業の皆様の知恵をお聞かせいただければ幸いです。

委員会では、興味がある方のご参加をお待ちしております。協会では出来ないことも数多くあります。そんな声をお聞かせ下さい。会員企業の皆様と共に創り上げていかなければ新しいビジネスモデルは構築できないと思っております。

ビジネスモデル委員会は、他の協会には無いもう一步踏み込んだ先まで共に進もうと活動しております。他の協会には出来ない部分「もったいない」を共に行動し形を構築して行きましょう。

卓上の理論だけではなく行動を伴う先にはJADCA に加入して良かったとの声が沢山聞こえてくるように感じております。

こんなビジネスモデル委員会に興味ある方は是非、事務局までご連絡ください。

JADCA だからできること・・・
たくさんありませんか？

BM 委員会委員長

高橋耕一 (株)アキュアリンク



事務局 etcetera (エトセトラ)

皆さんアウトドアは好きですか？ここ最近の新型コロナの影響からブームとなっていますが、例にもれず私もハマっています。昔から山が好きで年に1、2回登山していましたがコロナ禍の影響に加え子供も手が離れ時間を持て余すようになってくると月に1回、2回・・・と徐々に増えてここ2年間で120山行、実に180日間程を山で過ごすようになりました。

初めはソロでハイキング的な山行が多かったのですが、2年ほど前に飽き足らず山岳会なるものの扉を開けてしまいました。山岳会は映画や小説の中だけの無関係な世界と感じていましたが入会してみると知らなかった新たな領域が・・・。私の入会した山岳会は登山道の無い自然のままの地形をロープ等で登るアルパインクライミングを主としてハイキングから雪山登山まで、安全第一に冒険することをモットーに活動する会です。男女比が2:3程で40名弱、40代50代の中高年を中心として、会社の社長から主婦、看護師、介護士、会社員、ダンプ・タクシーの運転手、小学校・大学の先生等々様々。天気の良い日にはお喋りしながらのどかにハイキングをすることもあれば、吹雪の中無言でひたすらに登頂を目指す、雪にまみれて雪洞を作ってビバークして酒盛り、秘境と言われる峻険な山にテントを担いで登攀などと繰り返しているとすっかり忘れていた子供時代の感覚が戻ったようで、無垢な気持ちで仲間達と一つの趣味を通して助け合い笑いあい励ましあい、そこから一緒に目標を達成した時の感動はかけがえのないものとなります。

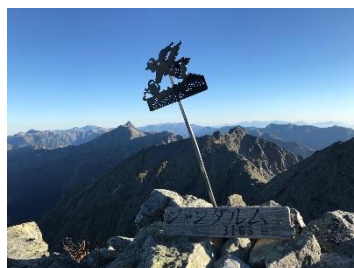
是非皆さんも奥深い山という趣味に踏み出してみませんか？まだ見ぬ絶景と体感した事のないアドレナリン量、疲労感、充実感はきっとあなたを虜にするはず？です。



厳冬期谷川岳西黒尾根



剣岳源次郎尾根とBC



奥穂高岳から西穂高岳縦走



八ヶ岳赤岳主稜



妙義山星穴岳での懸垂下降



筆者とオニギリ

written 花木俊介 (所属会社：東亜管財株式会社)

定時社員総会 JADCA35 周年記念式典&祝賀会の予告

- 1.日時 2023年6月7日(水)14:00～ 13:30 受付
2.場所 アートホテル日暮里 ラングウッド JR 日暮里駅徒歩3分
定時社員総会 JADCA 35周年記念式典 5 階 ルーチェ 14:30～
情報交換会 6 階 エテルノ 17:00～

編集後記

WBC で日本が世界一の称号を手に入れました。野球ファンでなくともニュースで拝見したかと思いますが、14年ぶりの日本の優勝に多くの国民が喜んだのではないのでしょうか。

我が侍ジャパンの選手たちは、チーム一丸となり国を背負い戦いましたが、チームの団結力があつたから勝利を掴み取れたと数多くの選手が話していたのが印象に残ります。JADCA も会員企業の皆様と一丸となり協会としての団結力を高め業の発展を描いていければと心から願っております。そんな中、6月7日に JADCA35 周年記念式典が開催されます。皆様とお会いし協会の団結力を高め JADCA の進むべき未来を語りあえればと思っております。是非、皆様のご参加を心待ちにしております。



JADCA 事務局

〒111-0042 東京都台東区寿一丁目2番7号

TEL : 03-5828-6116 FAX : 03-5246-7380

E-mail : info@jadca.jp URL : <http://www.jadca.jp/>